

## 令和5年度 事業計画（案）

一般財団法人MOA健康科学センター

### I. 基本的考え方

新型コロナウイルス感染症の蔓延と、それに伴う行動制限などの感染症対策により、人々の生活と健康に様々な影響が及んできている。海外では国家間の紛争が勃発し、その収束の兆しは見え、これらの危機が相俟って社会全体の経済と健康状態に少なからず影響を与えている。日本を含む多くの国々では国民の健康問題や社会保障制度の問題など解決すべき課題が山積している。

近年これらを背景に地域社会では、人間を心と体とスピリチュアリティ（霊性）を含めた総合的なものと捉え、社会環境や生活環境などの影響を視野に入れた医療と、単に病気を治療するというだけでなく人々を幸福な状態へ導くことのできる医療システムの構築を望む声が高まっている。それに応えるためには、全人的な視点で一人一人を大切にす「医療モデル」と、さらにはお互いの健康を支え合いQOL（生活・人生の質）を向上していくコミュニティづくりや健康格差のないまちづくりを目指す「社会モデル」とを合わせもつ統合医療の一層の充実に取り組むことが重要であるとする。

したがって本財団では、人間の備える自然治癒力を生かす医学及び健康法を普及するために、目的を同じくする健康関連団体と連携して、統合医療や各種健康法及び農医連携に関する共同研究や調査活動と情報提供を進め、統合医療の推進と健康づくり事業の拡大に取り組んでいる。そして有益な健康法については、その普及に必要な情報収集と研究を行い、家庭や地域社会の健康づくりに役立つ情報の発信を積極的に行っている。

その具体的な活動として令和5年度は、全国の医療法人及び関連団体との連携を軸に、統合医療や各種健康法に関する調査研究に取組み、その研究成果を学会、学術誌などに発表していく。さらに、国が推進する国民健康づくり運動や、各自治体で行われている健康増進への取り組みに貢献するために、東京療院をはじめ全国の健康増進施設と協働して、人々のライフスタイルや健康意識の向上をめざし、講演会・セミナー及び健康度測定などを実施する。

以上の事業及び活動を通して、家庭や地域社会における健康づくりを支援しつつ、平和で幸福な社会の実現に向けて「心身ともに健康なまちづくり」に取り組んでいく。

## Ⅱ. 具体的事業

### 1. 調査研究事業

「心身ともに健康なまちづくり」に向けて、MOAインターナショナルとの連携強化と医療法人財団玉川会をはじめ全国の医療法人財団、地方行政・団体と協働するとともに、岡田式健康法（浄化療法・食事法・美術文化法）をはじめとした統合医療に関係する調査研究を進めていく。そして統合医療の「医療モデル」としての療院（健康増進施設）と「社会モデル」としてのMOA健康生活ネットワークの拡充に貢献していく。

連携する団体：一般社団法人MOAインターナショナル、協力医療法人、公益財団法人岡田茂吉美術文化財団、公益財団法人農業・環境・健康研究所、一般社団法人MOA自然農法文化事業団、新田記念統合医学研究所及び国内外の自治体、研究機関、教育機関等

#### （１）東京療院との連携

##### ① 重点課題

- 1) 岡田式健康法が体・心・スピリチュアリティに及ぼす効果に関する学術的研究
- 2) 東京療院で行われている各種健康法の有効性に関する研究
- 3) 花を用いた療法の評価法に関する研究
- 4) 岡田式健康法に関する症例・事例の作成

##### ② 検討課題

- 1) 東京療院の充実と拡大に役立つために情報交流、共有を進める
- 2) 東京療院を起点とした「美味しいまちづくり」に役立つ食と健康の調査研究
- 3) MOA健康生活ネットワークの機能と役割に関する調査研究
- 4) 東京療院における生活改善プログラムの評価に関する調査研究の検討
- 5) 岡田式浄化療法の施術者と被施術者の満足度に関する調査研究

#### （２）MOAインターナショナルと連携した調査研究活動

- ① ソーシャル・キャピタルとしての健康生活ネットワークに関する調査研究
- ② 「美味しいまちづくり」を推進するための食・農と健康に関する調査研究
  - 1) 腸内細菌叢に関する調査研究
  - 2) 農医連携に関する調査研究
- ③ MOAの資格制度（浄化療法、食育、美術文化等）に貢献できるような情報提供
- ④ 国内の統合医療に関する調査研究
- ⑤ 心的外傷後成長（PTG）・首尾一貫感覚（SOC）などのアンケート調査による岡田式健康法や宗教的特性、スピリチュアリティに関する調査研究
- ⑥ 研究に関する検討チームとの連携
  - 1) 統合医療学会をはじめ各学会発表、専門誌への論文発表等の審査

### (3) 医療機関と連携した調査研究の推進

- ① 医療法人（玉川会、瑞泉会、光輪会、愛和会）との共同研究の充実
- ② 岡田式健康法の共同調査及び研究（国際調査・多施設研究）
- ③ 岡田式健康法による症例・事例調査及び作成
- ④ 岡田式健康法のEBMの構築及び評価法等の研究

### (4) 国内外の研究機関、行政機関及び各種団体等との連携

- ① 各研究機関、大学等との連携
  - 1) 農業・環境・健康研究所との調査研究及び人材教育の連携
  - 2) 広島大学医学部、日本大学国際関係学部、長崎県立大学、新潟大学、ヴィッテン・ヘルデッケ大学（ドイツ）等との連携
  - 3) その他の大学及び研究機関との連携
- ② 行政機関、各種団体等との連携
  - 1) 日本統合医療学会、日本応用心理学会との連携
  - 2) タイ国文科省、タイ国ダムナンサドゥアック市立病院、との協定に基づく共同調査・研究及び連携
  - 3) 広島県の介護施設との連携、及び共同研究
  - 4) 長野県阿南町富草診療所の研究支援
  - 5) その他の行政機関、各種団体等との連携
- ③ 国及び研究助成団体
  - 1) 科研費関連の配分機関や研究助成団体からの研究費獲得の検討

### (5) 研究推進委員会、倫理審査委員会による研究体制の充実

- ① 研究推進委員会・小委員会の充実
- ② 倫理審査と利益相反の管理に基づく研究の充実

### (6) 新規研究に関する情報収集及び人的交流、研究人材の育成

- ① 学会・シンポジウム等への参加
- ② 文献調査とデータベース化
- ③ 人的交流及び人材の育成

## 2. 普及、広報活動の充実

「心身ともに健康なまちづくり」に役立つ調査研究の推進に向けて、岡田式健康法の研究成果を分かりやすく社会に紹介する資料や情報の発信に努める。

### (1) 東京療院を中心とした普及広報の支援

- ① 東京療院におけるセミナーや健康度計測の実施
- ② 東京療院との連携強化

(2) 「これからの医療とまちづくりシンポジウム」の地方開催の支援

(3) 研究成果の公表

- ① 編集委員会による研究報告集の発刊と充実
  - 1) 研究報告集第 26 巻の活用と第 27 巻の発刊
- ② 各種専門学会への発表（準備）
- ③ 専門誌への投稿（医学系、心理系、科学系等）

(4) 広報資料の充実

- ① 会員誌と資料（冊子、DVD等）による情報提供
  - 1) 会員誌「21 世紀の健康科学」、ニュースレター「すこやかだより」の発行
  - 2) MOA インターナショナル発行の情報誌との連携
  - 3) 資料（冊子、DVD等）の作成と活用
- ② インターネット配信の検討・充実
  - 1) ホームページの更新と充実（MOA 関連団体との連携を図る）
  - 2) YouTube 及び SNS の更新と充実
  - 3) 研究報告集の電子ジャーナルによる発信
- ③ 研究報告集（論文）及び会員誌の外部団体・機関の図書館等への登録（送付）

(5) 講演会、研究会、セミナー、健康度測定の実施

- ① MOA インターナショナルと連携したセミナーと健康度測定の実施
- ② 行政や健康日本 21 関連団体などと連携したセミナーの実施の検討
- ③ いのちの研究会・信仰をもつ医療者の連帯のための会開催のための協力

### 3. 事業基盤の充実と拡大

(1) 賛助会員

現会員への健康度計測や情報提供のサービス、講演会・セミナー等を通して、財団の趣旨・目的をご理解いただき賛助会員の拡大をめざす。そしてホームページの充実や SNS の有効活用、また講演会などの開催を通して、外部（一般の個人、団体）からの賛助会員入会に取り組んでいく。

(2) 寄付金収入

療院、各地域の MOA インターナショナルと連携して、岡田式健康法研究の普及・拡大に取り組むなかで寄付金の収入を得ていく。

### 4. 法人運営に関する事業

(1) 理事会ならびに評議員会の開催と運営

理事会ならびに評議員会を開催し、その決裁のもと、事業計画に基づいて事業活

動に取り組む。

(2) 経常業務と施設の維持・管理

法人運営に必要な経常業務に取り組むとともに、各施設や什器備品などの維持・管理につとめる。

(3) 職員教育の推進

- ① 法人運営及び事業推進に必要な職員の資質の向上を図る。
- ② 社会と共に取り組むために人権尊重の精神の涵養を目的とする教育を進める。

以 上